

みんなで語ろう

樹木とわたし

ムクロジ 漢字知って感激新た

無職 川崎 貴久子 (茨城県 90)

今春小学校を卒業したA君と、同

時期に卒寿を迎えた私は年が離れた

友達同士。A君が6年間通った小

異彩を放つこの木にほれ込んだ。

学校は私の母校でもある。歴史ある

A君と話していて、ムクロジは

この小学校で、ムクロジの木がシン

「無患子」と書くことを知った。

ボルツリーとして子供たちを見守っ

「子が患わない」。含蓄ある名前に

ていることをA君を通じて知った。

感じ入った。生命力旺盛な木なのだ

実は10年ほど前、私は近くの公園

で、羽根突き羽根の玉になってお

でこの木と衝撃の出会いをしてい

正月の空に舞うとか。A君のママた

る。余計なものはまとわず、しわだ

ちはこの種を集め、つなげて手作

らけの幹をさらした孤高の立ち姿。

りストラップを仕上げ配ったと聞

枯れ姿なのに、その迫力。思わず釘

立ったわが友A君と後輩諸君のすこ

付けになった。古びた銘板に「むく

やかなる前途に乾杯。

憧れたクスノキ 心に色つや

無職 大塚 久子 (千葉県 93)

80年以上前、北海道の小学校の国

語の授業で「はやとり」という話を

教わりました。昔、1本のクスノキ

がありました、と始まります。雲ま

で届くように伸びる大樹の日陰で作

物が育たず、困った村人は木を切っ

て船を造り、作物を積んで町へ売り

に行くことに。クスノキの力が移っ

たのか、船は鳥のような速さで「は

やとり」と名付けられ、村の暮らし

は豊かになったという風土記です。

以来憧れの木ですが、北海道にク

スノキはなく、図鑑で知識を得まし

た。今から20年

つと出会います

並木。威風堂々

の挿絵の船が甲

声まで聞こえ

クスノキは

情が豊かです。

葉。まもなく、

行者にたつぷり

て裸木に囲ま

なイルミネー

クスノキの葉

映し、穏やか

い」。亡夫の遺

「風倒木」の切り出し 職を得た

無職 工藤 国和 (山形県 88)

1954年、洞爺丸台風と

呼ばれる大型台風が北海道の

山林を広範囲になぎ倒し、大

量の「風倒木」が生まれた。

2、3年のうちに搬出しな

い重労働だった。私たち臨時職

員は、切られた丸太を確認し

て受け取り、職人の賃金計算

のために直径や長さをメモに

取りながら、山から山へと歩

き回る。馬を使って丸太を搬

出する仕事の人もいた。



山田 紳

「生かさず 殺さず 儲けさせず」で!

紅葉

無職

私の地域

樹のトウカ

ンジ色の見

のでした。

のはそれが

で、今は紅

例。色つき

げ茶色の骸

秋の染しみ

この街路

してきたこ